



「職員の皆さん、私たちの研究を応援しませんか？」 理学部教員による職員向け談話会を開催



理学部長 坪田 誠

大阪市立大学理学部は、教員による職員向け談話会を開催します。この談話会では、より円滑な教職協働の実現をめざす理学部教員たちが「面白く優れた研究」を、職員に分かりやすく紹介します。

普段我々をサポートしてくれる立場である職員の方々に、「大学の研究費や外部資金が、このようなことに使われている」ということを知ってもらうとともに、研究に親しみをもってもらい、ファンを増やそうと目論む、教員主体のユニークな取り組みです。是非とも取材をお願いします。

記

【名 称】 理学部教員による職員向け談話会

【開催日時】 2018年12月5日(水) 13時30分～15時00分

【開催場所】 大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報総合センター1階 文化交流室

【内 容】 ①世界最大の放射線検出器で見る「宇宙」(講師：理学研究科 教授 荻尾 彰一)

人類が達成した最高エネルギーをさらに7桁以上超える高エネルギーの放射線＝最高エネルギー宇宙線が、この宇宙に存在します。この極限的高エネルギー現象は、この宇宙で最も激しい現象と関連していると考えられています。

この源はどこか？どのような天体現象か？この極めて稀な現象を捉えるために、我々は検出面積3,000平方km(琵琶湖の4倍!)という世界最大の放射線検出器を米国ユタ州に建設し、その解明を目指して研究しています。本講演では、最高エネルギー宇宙線によって開かれる新しい天文学と最新の成果を紹介します。

②魚類の多様な繁殖生態とその進化—アラスカの海からアフリカの湖まで—

(講師：理学研究科 准教授 安房田 智司)

魚類は多様な繁殖生態を進化させた脊椎動物です。私はこれまでアラスカの海に生息するカジカ科魚類やアフリカの湖固有のカワズメ科魚類の繁殖生態を研究してきました。本講演では、協同繁殖、精子の進化、他の動物に卵を預ける「卵寄託」といった珍しい繁殖生態を持つ魚類について紹介します。

【対 象】 大阪市立大学の事務職員 約50名

【お問い合わせ先】

大阪市立大学 広報室
TEL：06-6605-3411、3410